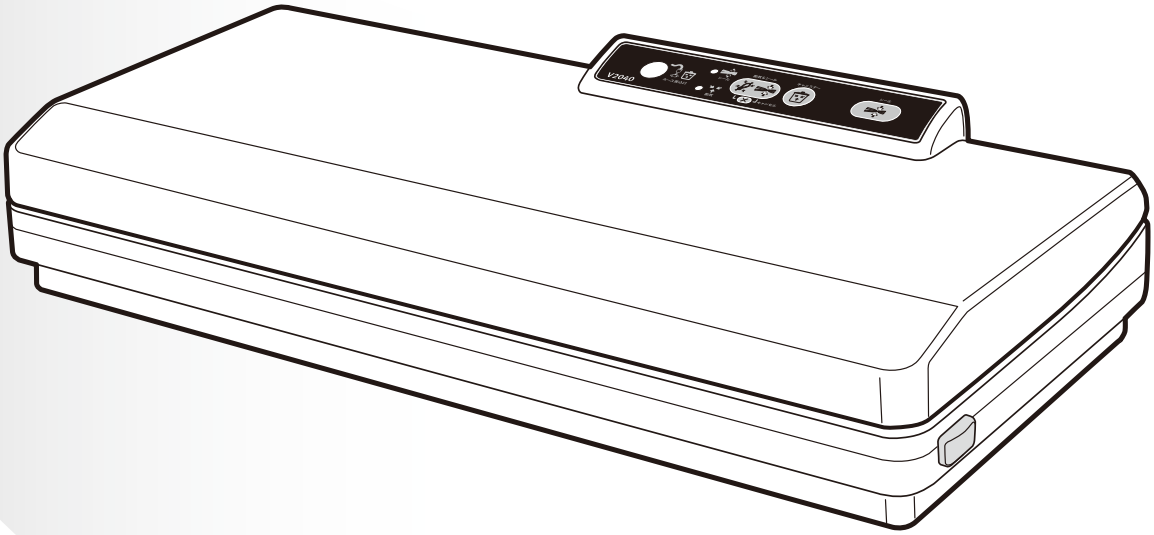
取扱説明書

このたびは、「フードセーバー」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
・本製品はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。　・ご使用の前に必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。
・取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご利用ください。

フードセーバー 取扱説明書

FoodSaver®

V2040



ショップ。ジャパン®
平成23年4月発行(4)

安全にお使いいただくために

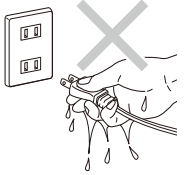
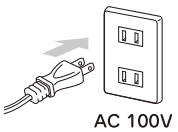
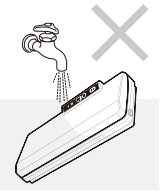
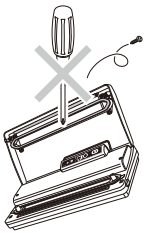
フードセーバーをご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みになり、注意事項にしたがって安全に正しくご使用ください。
ケガや事故の原因になりますので、この取扱説明書に記載のない目的・方法では絶対にご使用にならないでください。

■表示内容を守らず誤ったご使用をされたときに生じる危害や損害の程度を、下のような表示で区分して説明しています。

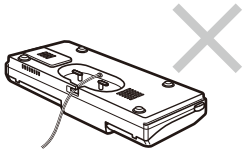
⚠警告	「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容
⚠注意	「人が損害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容

は、してはいけない「禁止」の内容です。
は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

ぬれ手禁止 感電注意	●濡れた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、電源が入った状態の本体を触ったりしないでください。感電の恐れがあります。 
禁止	●本製品は交流 100V 以外の電源コンセントには使用しないでください。延長コードはご使用にならないでください。タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。 
禁止	●お子様やペットのそばではご使用にならないでください。 ●本製品または他の部品を落としたり、損傷した場合には、本製品をご使用にならないでください。ケガや感電の原因になります。 ●本製品を異常な状態で使用しないでください。煙がでている、へんな臭いがするなど、異常な状態でご使用になると火災・感電の原因になります。
水ぬれ禁止 感電注意	●火災・感電・ケガを防ぐため、フードセーバー本体、電源プラグ、および電源コードを水などの液体に浸けないでください。 
分解禁止	●分解、改造、修理することは絶対におやめください。破損・故障・ケガ・事故の原因になります。 
修理	●電源コードやプラグが損傷しているとき、または正しく作動しないときは、巻末にご案内している連絡先に修理をご依頼ください。
禁止	●この取扱説明書に記載のない目的、方法では絶対にご使用にならないでください。ケガや事故の原因になります。
取扱注意 高温注意	●専用バッグ、パックロールに熱い物を入れないでください。 （十分冷ましてから入れてください） やけどの原因になります。

⚠ 注意

禁止	●ストア アンド カット（別売）のカッターの刃には触れないでください。ケガの原因になります。
取扱注意 プラグを抜く	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。 ●お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて冷ましてから行ってください。
取扱注意	●ふた開閉時に指がはさまれないようにしてください。 ●水気の多いものをそのまま脱気密封しないでください。本体が液を吸い込み、故障の原因になります。 ●ご使用直後は、本体のシール部や袋のシール部は大変熱くなります。使用中・使用後の取り扱いには十分ご注意ください。やけどの恐れがあります。
プラグを抜く	●電源コードをコンセントに差し込んだまま、フードセーバーのそばを離れないでください。
ほこりを取る	●電源プラグに付いたほこりやゴミは取り除いてください。
禁止	●ご使用時はフードセーバーを逆さにしたり、横倒しにしないでください。 ●ご使用中に移動させないでください。感電・ケガの原因になります。 
禁止	●台所の流し台、水気のある場所、油煙や湯気があたる場所、湿気やホコリの多いところではご使用にならないでください。火災・感電の原因になります。 ●本体・袋・専用バッグ・専用パックロールを火気の近くに置かないでください。火災の原因になります。
取扱注意	●圧力式の炊飯器では脱気密封したパックを使用する真空クッキングを行わないでください。炊飯器内部が100℃以上になるため、袋が破裂したり炊飯器が故障する場合があります。 ●炊飯器を使用する場合は炊飯器の説明書も合わせてお読みください。 ●炊飯器を使用する真空クッキングはお客様ご自身の責任で調理してください。事故・破損について当社は責任を負いかねます。
禁止	●黒いゴムパッドを研磨剤などで拭かないでください。故障の原因になります。 ●保存物をオーブンや直火で戻さないでください。
取扱注意 高温注意	●フードセーバーの電源コードは、 ー使用時に束ねないでください。 ーテーブルやカウンターの端などに引っ掛けたり、ドアにはさんだり、ねじったり、もつれさせたりしないでください。破損・故障やケガの原因になります。 ーコンロや暖房器具など高温になるものに近づけないようにしてください。電源コードの破損やケガの原因になります。 ー鋭利なものに近づけないでください。

ご使用にあたって

本製品は、食品やその他の生活用品を袋に入れ、脱気密封をしたり、保存物によっては、シール接着のみをすることにより上手に保存をするものです。

- ●食品を保存するときは、脱気密封パックをして冷蔵庫や冷凍庫にて保存してください。
- ●空気を抜いて密封しても、鮮度は少しずつ劣化します。早めの消費をおすすめします。
- ●この製品はあくまでも鮮度を保つものであり、殺菌作用はありません。保存には十分ご注意ください。
- ●業務用などで使用されている、強力な真空ポンプにより空気を抜き取る方法とは異なります。完全に真空状態にはなりません。

ご使用上の注意

●お客様の不注意による破損・故障・ケガ・事故・火災に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
●取扱説明書の使用ガイドライン、および指示が守られない場合は、当社は一切の責任を負いかねます。
●ご使用前に、製品が破損していないか点検してください。
●本製品はおもちゃではありません。
●お子様や監督が必要な人によるご使用はおやめください。
●人、ペット、植物のそばではご使用にならないでください。
●付属品以外のものを本体に取り付けないでください。
●本製品は屋内で使用し、絶対に屋外ではご使用にならないでください。
●故障していたり、または故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
●製品が破損したとき、または製品に異常を感じたときは、直ちにご使用を中止してください。

本製品の用途について

●本製品は一般家庭で個人が使用するために製造された製品です。業務用としてのご使用は絶対にしないでください。

保管と廃棄について

●本製品は安全で乾燥した場所に保管し、次のような場所には保管しないでください。
・極端に高温、低温になる場所　・ほこりや多湿の場所　・お子様の手の届く場所
・野外、直射日光のあたる場所　・油煙や湯気のあたる場所
●保管の際は、グリース、油、泥、雪、未乾燥の塗料、または他の滑りやすい物から遠ざけてください。
●保管の際は、清潔に保ち、有害物質から遠ざけてください。
●保管の際は、必ず平らで安定した場所に保管してください。
●本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の行政・自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

保守と点検について

●事故防止のため、当社が推奨、または販売している部品のみご使用ください。
●部品が破損、または紛失した場合は、当社にて修理をしてからご使用ください。
●故障、劣化、または火や化学物質で腐食した場合は、ご使用にならないでください。

お願い

ご使用方法を誤りますと、機器を傷めたり、故障の原因になります。

●続けてパックする際は最低 20 秒は休ませてください。休止時間をおかずに連続使用すると保護センサーが働き、数分作動しなくなることがあります。
●シール部、脱気溝、脱気口は常にきれいにしてご使用ください。
●一般のポリエチレン袋では脱気できません。シールのみのご使用は可能です。脱気・密封する場合は必ず専用バッグまたは専用パックロールをご使用ください。
●密封パックした食品を電子レンジで調理する際は、袋のかどを切って電子レンジで加熱してください。

はじめに

フードセーバーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
フードセーバーは、真空状態にして空気の侵入を防ぎ、
食材や身の回りのものを酸化・腐食・湿気から守るためにご利用いただけます。
一人暮らしの方からご家族まで、さまざまな方に幅広い用途でお使いいただけます。

また、安全に効率よくお使いいただけるよう、
安全上の注意事項や使用方法を記しております。ご使用前に必ずお読みください。

保証書は本書巻末にあります。
本書を紛失しないよう、いつでも手に取れる場所に保管してください。

もくじ

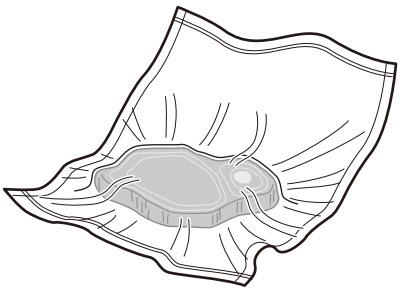
安全にお使いいただくために …… 2
はじめに …… 5
フードセーバーの特長 …… 6
フードセーバーを使う前に …… 7
各部の名称とはたらき …… 8
ご使用方法 …… 9
シールする …… 10
脱気＋シールする …… 11
キャニスターを使う …… 12
真空ボトルストッパーを使う …… 13
専用パックロールを切る …… 14
上手な保存方法のヒント …… 15
解凍・調理する …… 16
別売品 …… 16
保管とお手入れ方法 …… 17
こんなときには …… 18

フードセーバーの特長

生鮮食料品は空気に触れると栄養価、色、香り、みずみずしさ、品質が劣化します。
フードセーバーは専用バッグ / 専用パックロールを使って空気を取り除き、密封パックすることで食品の鮮度の低下や、酸化による品質の劣化を軽減します。

●鮮度・香り・成分を長く保つ

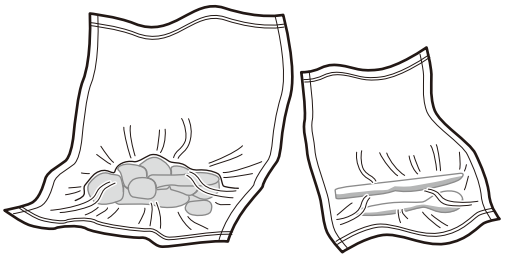
肉、魚介などを密封することでニオイうつりを防止します。
・冷凍時の霜付き防止に
・冷蔵時の鮮度維持に
・もち、粉末類、茶葉、乾物の湿気・害虫防止に



⚠注意
・本製品は食品の鮮度や酸化による品質の劣化を軽減するものです。保存した食品の安全性を保証するものではありません。
・業務用の完全密封真空パック器とは能力が異なります。ご了承ください。

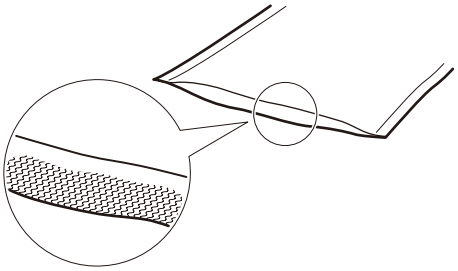
●お金・時間・労力をセーブ

材料をまとめ買いし、賢く保存することでお金と時間を有効に使えます。
・料理の下ごしらえに
・できあがった料理の保存に
・茶葉・乾物の保存に
・余った食材の保存に
・アウトドアの移動時に
・汚れ・害虫の防止に
・酸化による黒ずみ防止に（銀食器など）



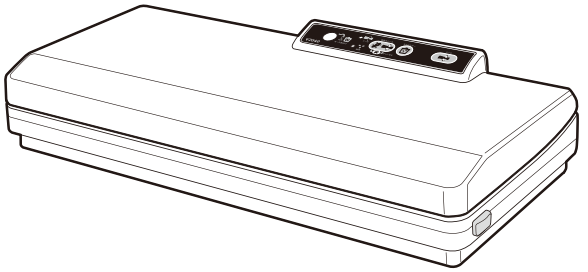
●専用の袋で強力密封

専用に独自開発された袋によって高度な脱気力を実現しました。
・スペクトル（波形）構造により、内容物の形状に関係なく空気の抜けがよくなり、密封度がアップします。
・外側のナイロン層は新鮮さをとじこめ、空気と湿気を閉め出します。

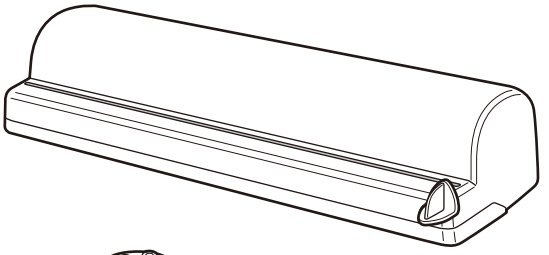


フードセーバーを使う前に

フードセーバー購入時に同梱されている付属品などについて説明します。



フードセーバー V2040



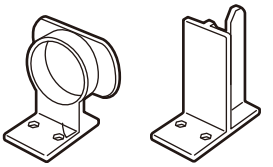
ストア アンド カット（別売品）

専用パックロールを収納し、
切るときに使用します。

キャニスター

くだものや野菜など、
やわらかい食品を保存
するときに使用します。

材質 本体：AS樹脂
　　フタ：ABS樹脂、シリコンゴム
耐熱温度：90℃
耐冷温度：-40℃



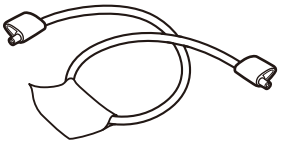
ホースホルダー

アクセサリーホースを
収納するときに使用し
ます。

真空ボトルストッパー

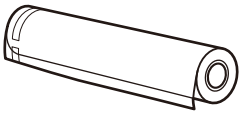
ワインやジュースの変
質、酸化を防ぐことが
できます。

材質：TPE樹脂ほか



アクセサリーホース

キャニスター、真空ボトル
ストッパーで脱気するとき
に使用します。



専用パックロール

パックするときに使用し
ます。食品の大きさに合
わせてカットします。
（28cm 幅 1 本）

材質：ポリエチレン
　　ナイロン、ポリオレフィン
耐熱温度：100℃
耐冷温度：-40℃

専用バッグ

パックするときに使用し
ます。すぐに使える袋タ
イプです。（20cm 幅 5 枚）

材質：ポリエチレン
　　ナイロン、ポリオレフィン
耐熱温度：100℃
耐冷温度：-40℃

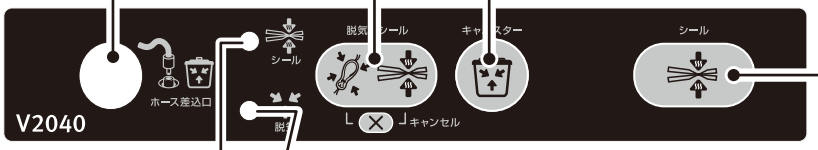
各部の名称とはたらき

フードセーバー本体各部の名称と機能について説明します。

アクセサリーホース差込口
キャニスター、ボトルの脱気を行うときにアクセサリーホースを差し込みます。

脱気＆シールボタン
専用バッグ／専用パックロールで脱気密封するときに押します。

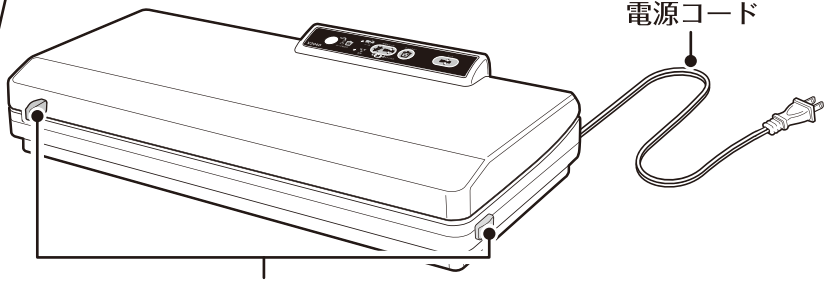
キャニスターボタン
キャニスター、ボトルの脱気を行うときに押します。



シールボタン
専用パックロールの片方をとじるときや、スナック菓子などの袋をシールするときに使用します。

シールランプ（赤）
シール中に点灯します。

脱気ランプ（緑）
脱気中に点灯します。



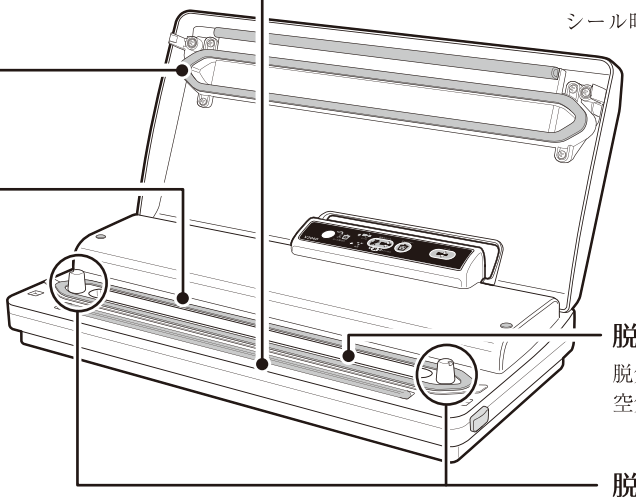
電源コード

ロック解除ボタン
左右２か所にあります。
ロックを解除するときに押します。

接着用ヒーター
シール時に熱を加えるヒーターです。

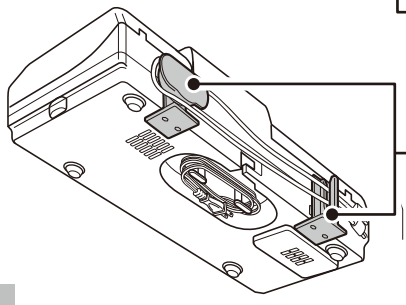
スポンジ
脱気、シール時に袋が動かないように固定します。

ゴムパッキン



脱気溝
脱気するとき、袋から空気を抜くための溝です。

脱気口
脱気するとき、空気を抜く穴です。



ホースホルダー
アクセサリーホースを収納するときは図のようにセットします。

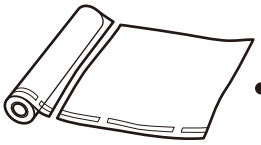
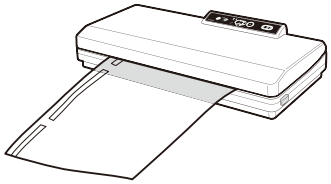
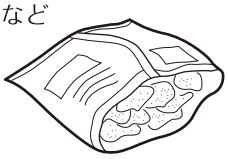
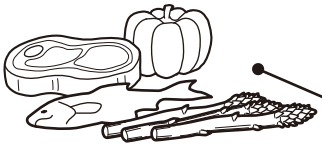
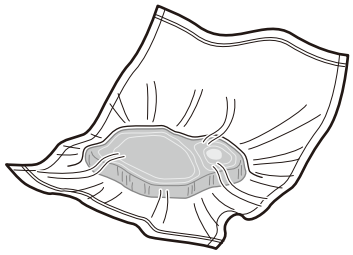
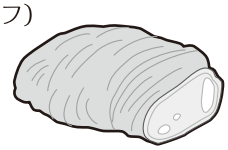
⚠注意

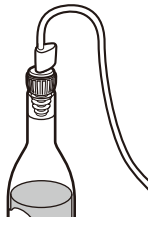
ご使用前に脱気溝に入っている梱包用クッション（2個）を外してからご使用ください。

ご使用方法

フードセーバーの使用目的別の使い方を説明します。くわしくは、参照先のページをごらんください。

目的	使い方
カットした専用パックロールの片方をとじる	シールする（10 ページ参照）
食べかけのスナック菓子などの袋を湿気から守る	
肉、魚、野菜（かぼちゃ、アスパラガスなど）の鮮度を保つ	脱気＋シールする（11 ページ参照）
真空クッキング（浅漬け、ローストビーフ）	
銀食器の酸化を防止したい	
やわらかい食品や液状のものを保存する	キャニスターを使う（12 ページ参照）
飲みかけのワイン、ジュースびんの保管	真空ボトルストッパーを使う（13 ページ参照）



シールする

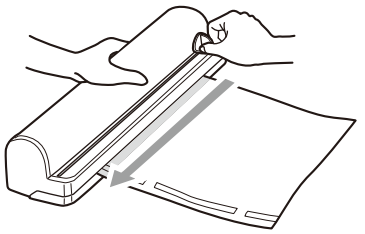
ご使用前に、2ページ「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

1　電源プラグをコンセントに差し込む

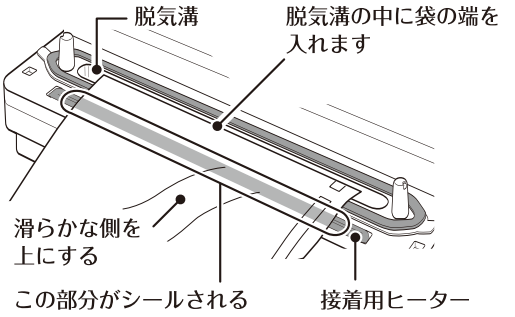
2　シールする

1 専用パックロールを使う場合は、適切な長さにカットする

カット方法は14ページを参照してください。

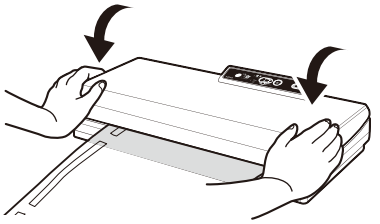


2 セットする



3 ふたを閉め、ロックする

ふたの両端を押さえるように確実にロックしてください。



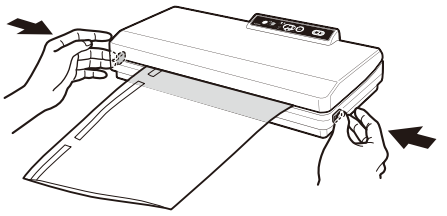
4 シールボタンを押す

シールランプ（赤）が点灯します。

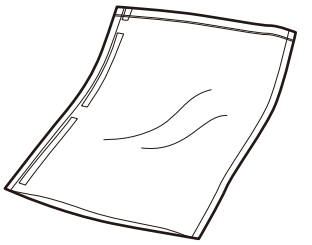
3　取り出す

シールランプ（赤）が消灯したら、シール完了です。

1 両側のロック解除ボタンを押してロックをはずす



2 袋を取り出す



4　電源プラグをコンセントから抜く

重要

・シール直後は、接着用ヒーターやシールされた部分に触れないでください。

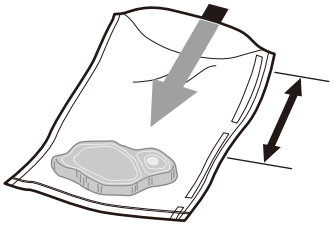
脱気＋シールする

ご使用前に、2ページ「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

1　電源プラグをコンセントに差し込む

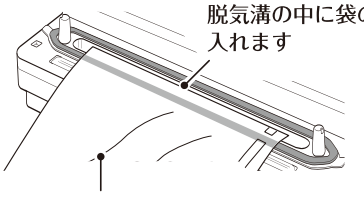
2　脱気＋シールする

1 専用バッグ / 片側をシールした専用パックロールに食品を入れる



シール位置まで約 7.5cm の余裕が必要です。

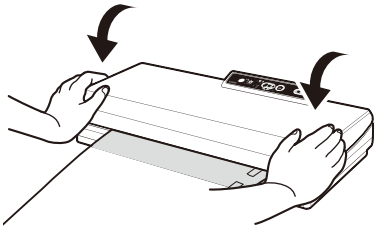
2 セットする



滑らかな側を上にします
※正しくセットしないと脱気できません

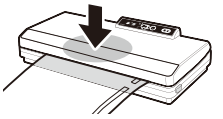
3 ふたを閉め、ロックする

ふたの両端を押さえるように確実にロックしてください。



4 脱気＆シールボタンを押す

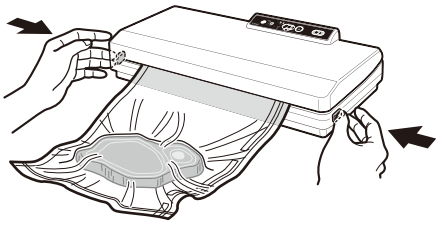
・脱気ランプ（緑）が点灯し、脱気が開始されます。脱気が終了すると消灯し、続いてシールランプ（赤）が点灯します。
・脱気の途中で中止するときは、脱気＆シールボタンをもう一度押します。
・脱気ランプ（緑）が点灯したままの場合は、ふた中央を軽く押さえてください。



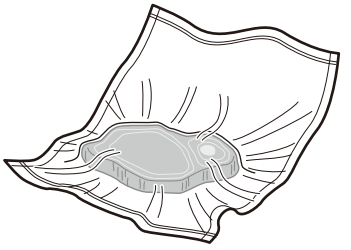
3　取り出す

シールランプ（赤）が消灯したら、シール完了です。

1 両側のロック解除ボタンを押してロックをはずす



2 パックを取り出す



4　電源プラグをコンセントから抜く

重要

・シール直後は、接着用ヒーターやシールされた部分に触れないでください。

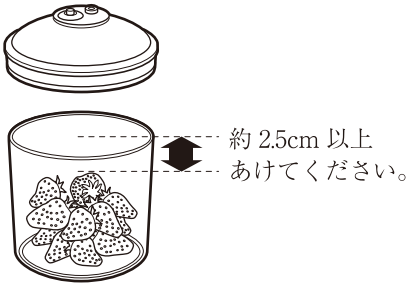
キャニスターを使う

ご使用前に、2ページ「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

1　電源プラグをコンセントに差し込む

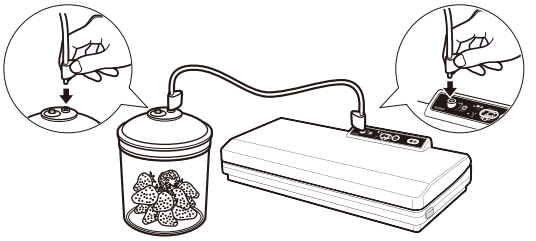
2　脱気する

1 キャニスターに食品を入れる



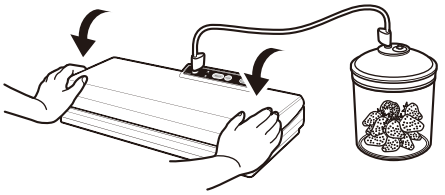
2 アクセサリーホースを接続する

空気漏れの原因になりますので、ホースは奥までしっかり差し込んでください。



3 キャニスターのふたを閉め、フードセーバーをロックする

フードセーバーのふたの両端を押さえるように確実にロックしてください。

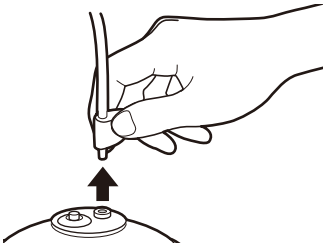


4 キャニスターボタンを押す

脱気ランプ（緑）が点灯します。

3　アクセサリーホースを取り外す

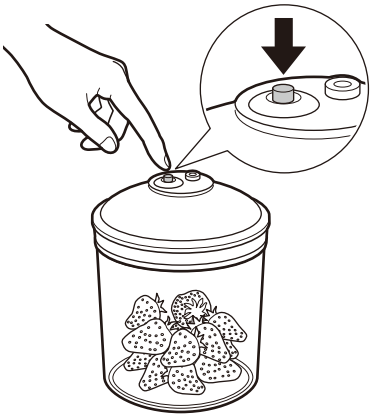
脱気ランプ（緑）が消灯したら、脱気完了です。



4　電源プラグをコンセントから抜く

食品を取り出すときは

キャニスターのふたのキャップを押して脱気状態を解除してからふたを開けます。



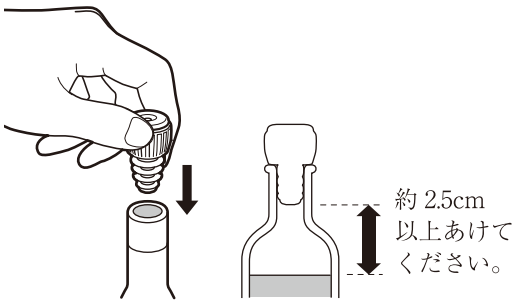
真空ボトルストッパーを使う

ご使用前に、2ページ「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

1　電源プラグをコンセントに差し込む

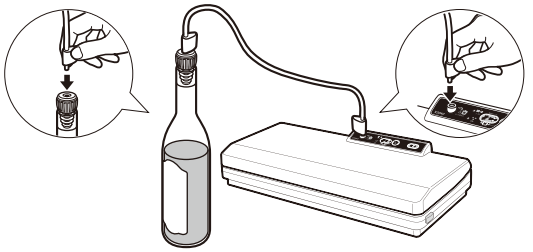
2　脱気する

1 びんに真空ボトルストッパーを取り付ける



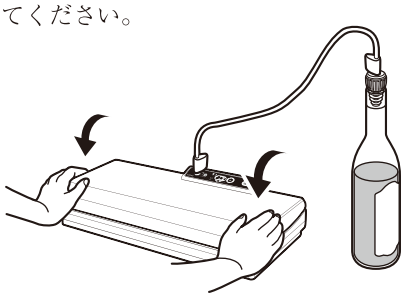
2 アクセサリーホースを接続する

空気漏れの原因になりますので、ホースは奥までしっかり差し込んでください。



3 フードセーバーをロックする

ふたの両端を押さえるように確実にロックしてください。

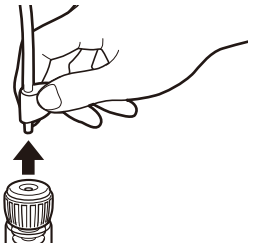


4 キャニスターボタンを押す

脱気ランプ（緑）が点灯します。

3　アクセサリーホースを取り外す

脱気ランプ（緑）が消灯したら、脱気完了です。



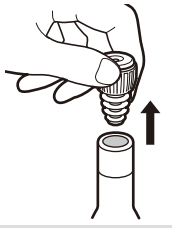
4　電源プラグをコンセントから抜く

重要

- 炭酸飲料のびんでは使用しないでください。
- 人肌よりも熱い液体が入っているびんの脱気はおやめください。真空状態に近くなると、気圧の差が生じて急激に沸騰する恐れがあります。

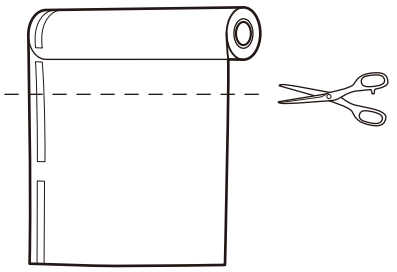
再び飲むときは

図のように真空ボトルストッパーを取り外します。

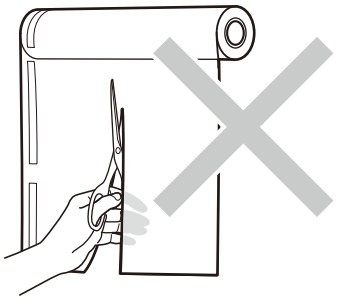


専用パックロールを切る

●はさみで切る



専用パックロールはロールに沿ってまっすぐ平行に切ってください。斜めになっていると接着用ヒーターの上に乗らない部分ができ、シールできない場合があります。
また、パックするものよりも 7.5cm 以上の余裕があるときれいにパックできます。

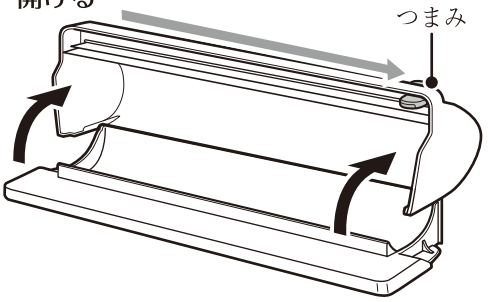


溝に沿って図のように切らないでください。
空気が漏れる原因になり、きれいにシールできません。

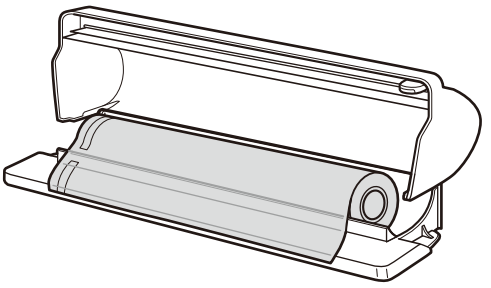
●ストア アンド カット（別売品）を使う

ストア アンド カットを使うと、好みの長さできれいに専用パックロールを切ることができます。

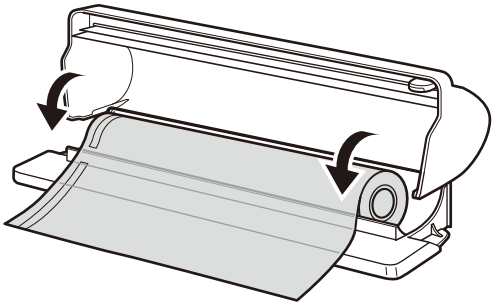
1 刃のつまみを片側に寄せて、ふたを開ける



2 専用パックロールをセットする

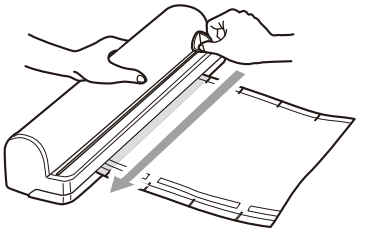


3 ロールを少し引き出し、ふたを閉める



4 好みの長さにロールを引き出し、ストア アンド カットの上部を軽く押さえながら刃のつまみを動かす

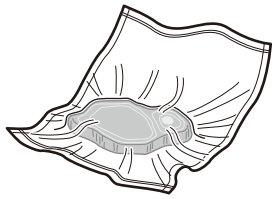
ロールの目盛りは 1 つが約 7.5cm です。



上手な保存方法のヒント

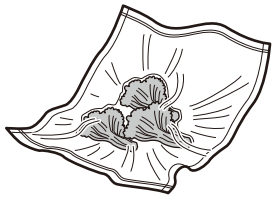
肉・魚

・肉汁などが多くて、パックできない場合は、ペーパータオルで水分を取り除いてから袋に入れてください。
・臭い移りや、冷凍やけ防止に役立ちます。
・冷蔵庫の保管だけでなく、脱気密封した肉・魚をクーラーボックスに入れてアウトドアに持って行くこともできます。



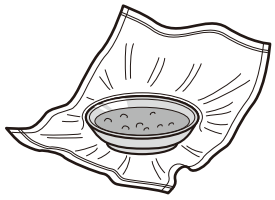
野菜

事前にゆでることによって鮮度、色、香りを劣化させる酵素の活動を遅らせることができます。ただし、ゆですぎにご注意ください。
新鮮なうちに沸騰したお湯でゆでるか、電子レンジで加熱してください。
その後冷まして水分を取り除いてから脱気密封します。
・使用分ごとに小分けしてパックすると調理時に便利です。
・香りの強い野菜はガスを発生させますので冷凍庫で保存してください。



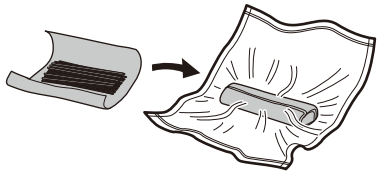
液状の食品

カレーやシチューなどはキャニスターをご利用ください。専用バッグ / 専用パックロールを利用する場合は、深皿やバットに入れて事前に凍らせてから脱気密封します。



その他の食品

・米、パスタのようにとがった部分がある場合はペーパータオルなどのクッション材で包んでから脱気密封します。
・かどのある箱状のパッケージは袋に穴が開くことがあります。かどのないものに移し替えてから脱気密封します。
・小麦粉、粉末状のコーヒーなどは脱気口から吸い込まれないよう、パッケージごと専用バッグに入れて脱気密封します。
・シュークリーム、いちごなどやわらかい食品は専用バッグ / 専用パックロールで脱気するとつぶれてしまいます。シールのみで保存するか、キャニスターを利用してください。



食料品以外

食品以外のものでも、酸化 / 腐食 / 湿気から守るために利用できます。
・銀食器・銀製品：空気に触れないことで黒ずみを防止できます。フォークなどとがったものはペーパータオルで包んで脱気密封します。
・アウトドア用品：衣類や道具をコンパクトにまとめられます。また、水濡れ防止にもなります。
・緊急時用品：ライト、電池、ろうそく、マッチなどをひとつにまとめてパックし、常備できます。

⚠注意

・大量の水分が流れ、パックできない場合はあらかじめ冷凍してから脱気してください。水分が脱気口に流れ込み、故障の原因になります。
・ろうそくなどは、温度上昇により形が崩れる場合があります。高温にならない場所に保管してください。

解凍・調理する

●解凍

冷蔵庫内で解凍します。常温では解凍しないでください。
電子レンジを使う場合は、袋のかどを切ってください。

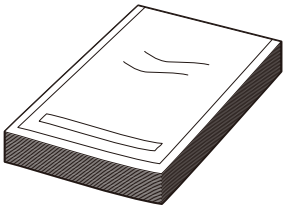
●湯せん

専用バッグ / 専用パックロールは沸騰したお湯で加熱・調理できます。
※長時間沸騰した状態で加熱すると、袋の密封部分が密着し、中のものが取り出しにくくなることがあります。

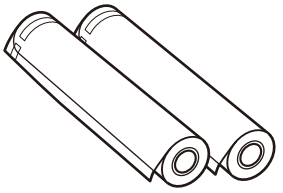
別売品

フードセーバーには次のような別売品があります。別売品に関するご質問は下記の「カスタマーサービスセンター」までお問い合わせください。

キャニスター 3 点セット



専用バッグ
(横 20cm× 縦 28cm 22 枚)



専用パックロール
(28cm 幅 × 540cm 2 本)
(20cm 幅 × 670cm 2 本)

ショップジャパン カスタマーサービスセンター
0120-096-013
受付時間
午前9時～午後9時
(年末年始を除く)
[FAX] 0120-700-037 [E-mail] info@shopjapan.jp
24時間･365日受付

保管とお手入れ方法

保管とお手入れの方法について説明します。

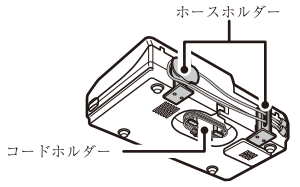
⚠警告

・お手入れを開始する前に、電源コードがコンセントから抜けていて接着ヒーターが常温になっていることを必ず確認してください。
・火災、感電、ケガを防ぐため、フードセーバー本体、電源プラグ、および電源コードを水などの液体に浸けないでください。

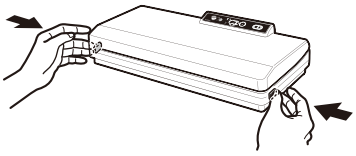
本体の保管

電源コードは本体底面のコードホルダーに巻きつけて保管します。
アクセサリーホースは付属のホースホルダーを使用して、本体と一緒に収納できます。

スポンジやゴムパッキンを保護するため、両側のロック解除ボタンを押して、ロックがはずれている状態で保管します。



⚠注意
フードセーバーを持ち運ぶときは、フードセーバー本体の下側を持ってください。ふたの部分を持つと、本体が開き、破損・故障・ケガ・事故の原因となります。

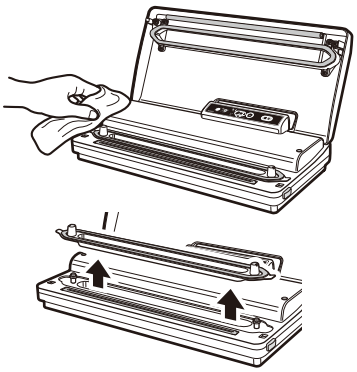


本体 / ストア アンド カット（別売品）のお手入れ

プラスチック部分は水をふくませ固く絞ったやわらかい布で、汚れを拭き取ります。汚れがひどい場合は薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、乾いた布でから拭きしてください。

本体の接着用ヒーター部分やスポンジ部分はデリケートです。破損させないようにていねいに拭き取ってください。
お手入れの後は完全に乾かしてからご使用ください。

脱気溝は図のように取り外すことができます。本体のプラスチック部分と同様に拭いてください。



キャニスター・真空ボトルストッパーのお手入れ

●キャニスター容器部分
台所用中性洗剤を使って、ぬるま湯で洗います。

●キャニスターふた部分
水に浸したままにしないでください。汚れている場合は水または台所用中性洗剤を含んだ布で軽くていねいに拭き取ってください。アクセサリーホース差し込み口やアクセサリーホースに洗剤成分が残ったり、ほこりが入らないようにご注意ください。

●真空ボトルストッパー
台所用中性洗剤を使って、ぬるま湯で洗います。ただし、水に浸したままにしないでください。
お手入れの後は完全に乾かしてからご使用ください。

こんなときには

フードセーバー使用時のトラブル対処方法について説明します。

現象	原因	対処方法
ロックしているのに作動しない。	電源コードがコンセントに接続されていない。	電源コードをコンセントに正しく差し込んでください。
	コンセントの電源がきていない。	ヒューズ、またはブレーカーを確認してください。
	連続して使用したため、保護センサーが働いて動作が停止した。	連続して使用する場合は、ふたを開けた状態で 20 秒以上おいてください。
シールできない。	接着する袋の端が脱気溝に入っていない。	11 ページ「脱気＋シールする」の手順に従って、操作し直してください。
専用バッグ / 専用パックロール内の空気が抜けない。	袋のあいているほうが脱気溝に正しく入っていない。	11 ページ「脱気＋シールする」の手順に従って、操作し直してください。
	袋に穴があいている。	新しい袋に交換してください。
	接着した部分がしわになっている。	シール部分をカットし、シールし直してください。
	本機以外の機器で接着した。	本機でシールし直してください。
空気が抜けたあと、専用バッグ / 専用パックロール内に空気が入ってくる。	シール位置が食品から近すぎる。	シール部分をカットし、シールし直してください。食品とシール位置が 7.5cm 以上離れた状態にしてください。
	食品の水気や食品の一部が接着部分に付着している。	シール部分の水分や食品を取り除き、シールし直してください。
	袋に穴があいている。	とがったものをシールすると穴があくことがあります。とがった部分をペーパータオルなどでくるんで脱気密封してください。
専用バッグ / 専用パックロールが溶ける。	接着用ヒーターが熱くなっている。	ふたを開けた状態で 20 秒以上おいて、冷却させてください。
専用バッグ / 専用パックロールが接着されない。	連続して使用したため、保護センサーが働いて動作が停止した。	連続して使用する場合は、ふたを開けた状態で 20 秒以上おいて、冷却させてください。

■仕様

型名	フードセーバー V2040		
電源	100V 50/60 Hz	消費電力	120 W
外形寸法	約 39×17×8.5（cm）	重量	約 2.5 kg
使用可能な袋	専用バッグ、専用パックロール		

保証書

ショップ。ジャパン®

この度は当社商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この保証書は、保証期間中に故障が発生しました場合には、下記の無料修理規定にしたがって無料修理を行うことをお約束するものです。
この製品が、万一保証期間内に故障しました場合は、**ショップジャパン修理受付センター**にご連絡願います。
保証期間内に限り無料にて修理をさせていただきます。（ご返送の際に発生する送料はお客様のご負担となります。）

※修理をご希望される場合、本書とフードセーバーのお買い上げ証明（お買い上げ明細書、レシート、領収書など）の提示が必要となりますので、保証書とお買い上げ証明を大切に保管してください。

【品名: フードセーバー V2040 】

お客様ご氏名: 様

お客様ご住所: 〒

お客様電話番号（購入時）:

ご購入日: 年 月 日

保証期間: ご購入日より **1年間**

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がありましたら裏面の当社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

無料修理規定

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で故障した場合は保証期間内に限り無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （イ）本書の提示がない場合。
   （ロ）お買い上げ明細書がない場合および本書の字句を書替えられた場合。
   （ハ）使用上の誤り、または不当な修理・改造による故障および損傷。
   （ニ）お引渡し後の輸送・落下・水ぬれ等による故障および損傷。
   （ホ）火災・公害・異常電圧および地震・落雷・風水害・その他の天変地異による故障および損傷。
   （ヘ）過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。
   （ト）故障の原因が本機以外にある場合。
   （チ）付属品等の消耗品の交換。
   （リ）車輌船舶などに搭載されて生じた故障および損傷。
   （ヌ）一般家庭用以外の用途（業務用など）で生じた故障および損傷。
   （ル）取扱説明書に記載された「安全のご注意」を守られない場合の故障。
3. 直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理を行った場合の出張料等は、お客様の負担となります。
4. 消耗品は保証対象外となります。
5. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
6. 保証に関して不明の点がありましたら、当社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
8. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

アフターサービス

1. 保証期間経過後の修理については、ご希望により有料で承ります。
2. 当社は、補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
   注）補修用性能部品とは、その製品を保持するために必要な部品です。

修理受付先

ショップジャパン　修理受付センター

☎0120-936-002

受付時間 午前9時～午後9時（年末年始を除く）

お問い合わせ先

ショップジャパン カスタマーサービスセンター

☎0120-096-013

受付時間 午前9時～午後9時（年末年始を除く）

世界の「!」をお届けします
ショップ。ジャパン®

輸入/販売元
株式会社 オークローンマーケティング
〒461-0005　愛知県名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル14F
shopjapan.jp

ショップ。ジャパン®

世界の「!」をお届けします

修理については【修理受付センター ☎0120-936-002】までお電話ください。

≪お問い合わせ≫
「フードセーバー」についてのご質問は右記の「カスタマーサービスセンター」までお問い合わせください。
おかけ間違いのないよう番号をご確認ください。

ショップジャパン カスタマーサービスセンター
☎0120-096-013
受付時間
午前9時～午後9時
（年末年始を除く）
[FAX] 0120-700-037 [E-mail] info@shopjapan.jp
24時間･365日受付

世界の「!」をお届けします
ショップ。ジャパン®

輸入/販売元
株式会社 オークローンマーケティング
〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル14F
shopjapan.jp

正規輸入販売元 ショップジャパンはフードセーバーシリーズの正規輸入販売元です。

JADMA 社団法人日本通信販売協会会員

ショップジャパンモバイルサイトへアクセス

FDSV221206T1-02

©2011 Sunbeam Products, Inc. doing business as Jarden Consumer Solutions. All rights reserved. FoodSaver® is a registered trademark of Sunbeam Products, Inc. All other trademarks are properties of their respective owners. Some images and text are copyrighted. Sunbeam Products, Inc. is a subsidiary of Jarden Corporation (NYSE:JAH). Printed in China.